

青谷高等学校のあり方について

趣 意 書

鳥取県立青谷高等学校は、昭和23年に開校、平成11年度には総合学科に改編し、平成26年度は66周年となります。総合学科としての現在は、ビジネス・情報、芸術文化など自分の興味、進路に応じた選択学習を取り入れ、また、生徒指導の充実、確かな学力の定着、地域との連携を重点目標とし、複雑化している社会を生き抜くため、「社会人として通用する人材育成」を目指しています。しかし、少子化による生徒減少の中で、高い教育力や魅力と活力にあふれる高等学校を目指し、今後の在り方について各関係機関で検討がなされています。

このような状況の中、青谷高等学校も「県立高等学校の在り方に関する基本方針」に沿って、平成26年度入学定員は1クラス減の114名となりました。平成26年度の在籍者数は、定員418名に対して292名、西部地域（気高・鹿野・青谷）の在籍者は75名となっており、少子化の影響で減少しているものの、総合学科の魅力や通学の利便等から西部地域の志望者割合は今後も高く推移するものと思われまます。

青谷高等学校は、総合学科に再編後は国際交流や地域との連携として、日中韓高校生国際シンポジウムの開催、地域の社会人講師を招いた授業を取り入れ、さらに青谷町内に限らず、保育園や各種イベントにボランティアとして参加するなど、幅広い分野で人づくりの活動を広げています。また、スポーツ関係では卓球部男子が全国高校総体に通算30回出場、弓道部は全国、中国大会出場、文化関係では放送部や書道部が全国、近畿での総合文化祭に出場するなど、特色ある高等学校であります。

鳥取市が策定した「新市域振興ビジョン推進計画」でも、青谷高等学校の存続や活性化は地域において重要な問題として挙げ、「卓球のまち青谷の復活」として計画に盛り込むなど、官民一体となって盛り上げていくこととしています。

以上のことから、青谷地域はもとより、西部地域の今後の活性化の観点からも青谷高等学校は不可欠と認識し、地域の学校として地域で支える体制づくり、特色や魅力のある学校を目指し、青谷高等学校のあり方を考える協議会を立ち上げるものです。

平成26年12月20日

次代を担う生徒を育成するための魅力と活力に
あふれる本県高等学校教育の在り方について

[平成31年度～平成37年度]

(答 申)

抜 粹

平成26年9月29日

鳥取県教育審議会

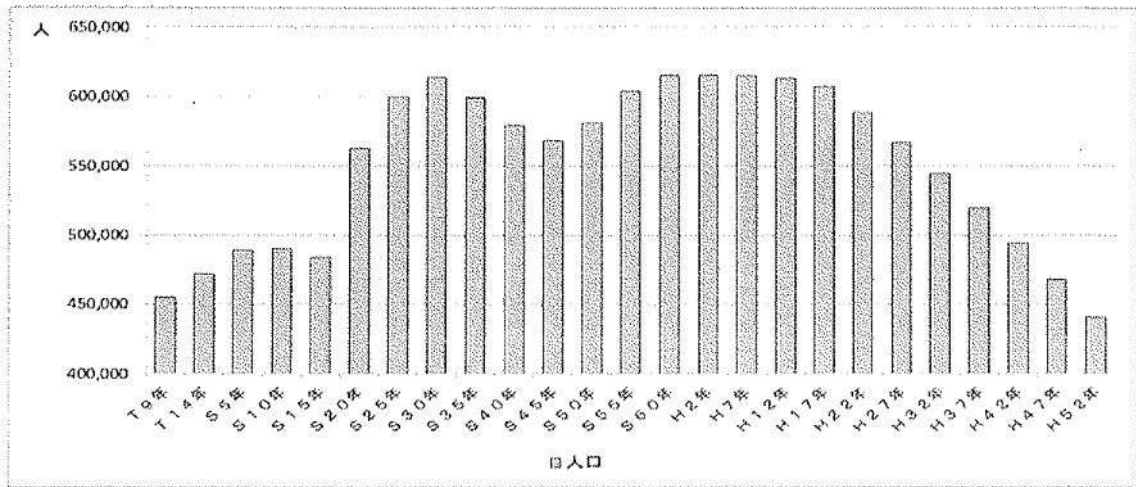
Ⅱ 県人口や生徒数の減少に対応した高等学校の在り方

平成25年3月に、国立社会保障・人口問題研究所が発表した「日本の地域別将来推計人口」では、鳥取県の人口は今後も減少を続け、平成22年に約59万人であったものが、平成37年には約52万人、平成52年には約44万人にまで減少することが予想されている（図1）。さらに、平成22年を100としたときの人口指数で見ると、平成37年の全国平均の94.2に対して鳥取県は88.3と、5.9ポイントも低い数値となっている。

また、平成26年3月の県内中学校卒業生数は5,427人であり、平成16年3月と比べると、1,542人減少している。県内中学校卒業生数は、今後も減少することが見込まれており、今回の答申の計画期間である平成31年度から平成37年度の期間においても、全県で400人程度減少することが見込まれている（図2）。

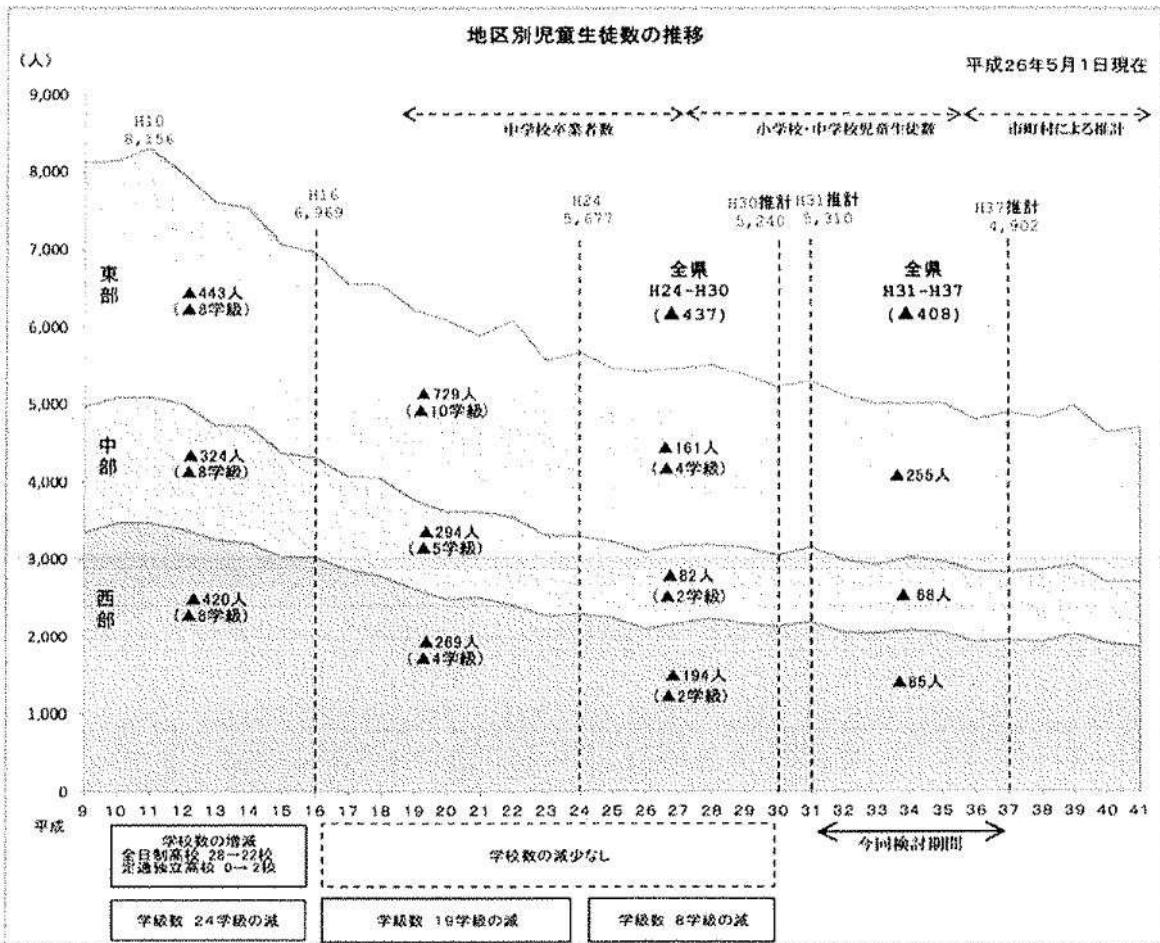
このような生徒減少期の中にあっても、高等学校教育の質の低下を招くことがないよう教育環境の整備を進めるとともに、県全体のバランスを考慮しつつ、各地域の状況に応じた学校、学科等の規模や配置の在り方について考えていく必要がある。

【(図1) 鳥取県人口の推移】



(出典) 「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月公表データより)

【(図2) 地区別児童生徒数の推移】



【(図3) 県立全日制高等学校募集学級規模別学校一覧 (平成17年度・平成26年度)】

(平成17年度)

地区	学科	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級	合計
東部地区	普通			岩美				鳥取東 八頭	鳥取西	4校 29学級
	専門			智頭農林		鳥取工業 鳥取湖陵		鳥取商業		4校 24学級
	総合			青谷						1校 4学級
中部地区	普通				倉吉西 鳥取中央育英	倉吉東				3校 16学級
	専門			倉吉農業		倉吉総合産業				2校 10学級
西部地区	普通					境		米子東 米子西		3校 22学級
	専門				米子南 米子工業	境港総合技術				3校 16学級
	総合		日野	米子						2校 7学級
合計			1校	5校	4校	6校		5校	1校	22校 128学級
規模別学校数割合			4.5%	22.7%	18.2%	27.3%		22.7%	4.5%	



(平成26年度)

地区	学科	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級	7学級	8学級	9学級	合計
東部地区	普通		岩美				鳥取東 八頭	鳥取西		4校 25学級
	専門		智頭農林		鳥取商業 鳥取工業 鳥取湖陵					4校 18学級
	総合		青谷							1校 3学級
中部地区	普通			倉吉西 鳥取中央育英	倉吉東					3校 13学級
	専門		倉吉農業		倉吉総合産業					2校 8学級
西部地区	普通					境		米子東 米子西		3校 21学級
	専門			米子南	米子工業 境港総合技術					3校 14学級
	総合	日野		米子						2校 6学級
合計		1校	4校	4校	8校		2校	3校		22校 108学級
規模別学校数割合		4.5%	18.2%	18.2%	36.4%		9.1%	13.6%		

ウ 総合学科

総合学科は、共通教科及び専門教科のうちから、生徒の興味・関心に応じて科目を選択して学習できる学科であり、本県では、平成10年度以降に3校を設置している。総合学科では、自己の将来の生き方や在り方についての考察及び望ましい勤労観や職業観を育成するために、「産業社会と人間」を原則履修科目としており、加えて、ある特定の分野別にまとめた多様な選択科目が用意されていることにより、生徒が自らの進路希望に応じて学習できることなどが期待できる。

しかし、「多くの選択科目が用意されているという特色が本当に活かされているか」、「選択科目が設置当初から見直されていないのでは」、「中学校や地域に対して総合学科が十分に理解されていないのでは」との課題も聞かれる。

今後は、地域や学校の実態に応じた系列の検討や系列にとらわれない自由な選択科目群の設定などの工夫を行い、一層の特色化を進め、魅力ある学校づくりに取り組むとともに、その取組を積極的に中学校や地域にPRしていく必要がある。

なお、総合学科では、生徒の興味・関心に応じて科目選択ができることから多様な進路選択が可能となるものの、近年入学者が募集定員に満たない学校もあり、設置当初よりも学校が小規模となってきている。

今後、総合学科の持つ課題や成果等について引き続き検証するとともに、その特徴を生かした生徒や地域のニーズに応える魅力や特色のある学校づくりについて検討していくことが求められる。

<資料12> 県立高等学校（全日制）の生徒数一覧（平成26年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	学科	定員			1年			2年			3年		
		1年	2年	3年	生徒数	過不足数	充足率	生徒数	過不足数	充足率	生徒数	過不足数	充足率
鳥取東	普通	240	280	280	243	3	101.3%	283	3	101.1%	275	△ 5	98.2%
	理数	40	40	40	40	0	100.0%	40	0	100.0%	38	△ 2	95.0%
鳥取西	普通	320	320	320	321	1	100.3%	319	△ 1	99.7%	321	1	100.3%
鳥取商業	商業	190	190	190	164	△ 26	86.3%	191	1	100.5%	191	1	100.5%
鳥取工業	工業	152	152	152	119	△ 33	78.3%	148	△ 4	97.4%	144	△ 8	94.7%
	理数工学	38	38	38	35	△ 3	92.1%	37	△ 1	97.4%	35	△ 3	92.1%
鳥取湖陵	農業	76	76	76	76	0	100.0%	74	△ 2	97.4%	73	△ 3	96.1%
	工業	38	38	38	38	0	100.0%	31	△ 7	81.6%	37	△ 1	97.4%
	家庭	38	38	38	39	1	102.6%	38	0	100.0%	38	0	100.0%
	情報	38	38	38	39	1	102.6%	37	△ 1	97.4%	36	△ 2	94.7%
青谷	総合	114	152	152	92	△ 22	80.7%	92	△ 60	60.5%	108	△ 44	71.1%
岩美	普通	114	114	114	75	△ 39	65.8%	63	△ 51	55.3%	90	△ 24	78.9%
八頭	普通	280	280	280	279	△ 1	99.6%	280	0	100.0%	267	△ 13	95.4%
智頭農林	農業	80	80	80	57	△ 23	71.3%	68	△ 12	85.0%	60	△ 20	75.0%
倉吉東	普通	200	200	200	205	5	102.5%	202	2	101.0%	195	△ 5	97.5%
倉吉西	普通	160	160	160	153	△ 7	95.6%	157	△ 3	98.1%	151	△ 9	94.4%
倉吉農業	農業	114	114	114	99	△ 15	86.8%	70	△ 44	61.4%	50	△ 64	43.9%
倉吉総合産業	工業	76	76	76	75	△ 1	98.7%	68	△ 8	89.5%	69	△ 7	90.8%
	商業	38	38	38	35	△ 3	92.1%	37	△ 1	97.4%	39	1	102.6%
	家庭	38	38	38	38	0	100.0%	34	△ 4	89.5%	35	△ 3	92.1%
	情報	38	38	38	36	△ 2	94.7%	34	△ 4	89.5%	36	△ 2	94.7%
鳥取中央育英	普通	160	160	160	163	3	101.9%	136	△ 24	85.0%	144	△ 16	90.0%
米子東	普通	320	320	320	321	1	100.3%	317	△ 3	99.1%	319	△ 1	99.7%
米子西	普通	320	320	320	320	0	100.0%	324	4	101.3%	310	△ 10	96.9%
米子	総合	152	152	152	153	1	100.7%	148	△ 4	97.4%	147	△ 5	96.7%
米子南	商業	114	114	114	114	0	100.0%	113	△ 1	99.1%	117	3	102.6%
	家庭	38	38	38	38	0	100.0%	36	△ 2	94.7%	37	△ 1	97.4%
米子工業	工業	190	190	190	192	2	101.1%	170	△ 20	89.5%	182	△ 8	95.8%
境	普通	200	200	200	201	1	100.5%	198	△ 2	99.0%	202	2	101.0%
境港総合技術	水産	76	76	76	76	0	100.0%	63	△ 13	82.9%	75	△ 1	98.7%
	工業	76	76	76	76	0	100.0%	72	△ 4	94.7%	67	△ 9	88.2%
	福祉	38	38	38	38	0	100.0%	37	△ 1	97.4%	37	△ 1	97.4%
日野	総合	76	114	114	63	△ 13	82.9%	53	△ 61	46.5%	45	△ 69	39.5%
学科別集計	普通	2,314	2,354	2,354	2,281	△ 33	98.6%	2,279	△ 75	96.8%	2,274	△ 80	96.6%
	農業	270	270	270	232	△ 38	85.9%	212	△ 58	78.5%	183	△ 87	67.8%
	水産	76	76	76	76	0	100.0%	63	△ 13	82.9%	75	△ 1	98.7%
	工業	532	532	532	500	△ 32	94.0%	489	△ 43	91.9%	499	△ 33	93.8%
	商業	342	342	342	313	△ 29	91.5%	341	△ 1	99.7%	347	5	101.5%
	家庭	114	114	114	115	1	100.9%	108	△ 6	94.7%	110	△ 4	96.5%
	福祉	38	38	38	38	0	100.0%	37	△ 1	97.4%	37	△ 1	97.4%
	情報	76	76	76	75	△ 1	98.7%	71	△ 5	93.4%	72	△ 4	94.7%
	理数	40	40	40	40	0	100.0%	40	0	100.0%	38	△ 2	95.0%
	理数工学	38	38	38	35	△ 3	92.1%	37	△ 1	97.4%	35	△ 3	92.1%
	総合	342	418	418	308	△ 34	90.1%	293	△ 125	70.1%	300	△ 118	71.8%
	計	4,182	4,298	4,298	4,013	△ 169	96.0%	3,970	△ 328	92.4%	3,970	△ 328	92.4%

〔学校便覧(H26.5.1)より〕

【青谷高等学校のあり方を考える協議会 行動計画スケジュール(案)】

実施項目	平成27年度												平成28年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
県全体の将来見通し(県教育委員会の方針)																								
(1)基本方針(案)の検討	←→																							
(2)関係機関との意見交換	←→																							
(3)パブリックコメント												←→												
(4)基本方針の策定・公表												←→												
1. 調査研究																								
(1)先進地視察																								
・兵庫県村岡高校(特色選抜「地域アウトドアスポーツ類型」)																								
(2)鳥取県立高校の実態																								
・東部高校の状況(定員・充足・将来見通)																								
・総合学科の状況																								
(3)鳥取市の方針(地域振興監)																								
・鳥取市としての存続への見解を整理																								
・青谷高校存続のメリット・デメリットの整理																								
・青谷高校が地域に及ぼす影響・必要性の整理																								
2. 学校活動のPR																								
(1)青谷高だよりの発行																								
(2)あおや支所だよりの発行																								
(3)マスコミへの情報提供																								
(4)保育園・小学校・中学校との連携活動																								
(5)町内各種団体との連携活動																								
3. 地域との連携																								
(1)地域イベント参加																								
(2)ボランティア活動																								
(3)青谷学																								
(4)農業科目																								
4. その他																								
(1)高校生による卓球講習会																								
5. 協議会の取組み(必要に応じて随時)																								
(1)企画委員会																								
(2)協議会																								
(3)関係機関への要望																								